

# 記載例 1 (一般向け)

- 記載に当たっては、ボールペン又は万年筆（いずれも黒インクに限る）で誰でも分かるような字で丁寧に記入して下さい。
- 記入内容を訂正する場合は、訂正する部分を二重線で抹消し、正しいものを記入して下さい（訂正印不要、修正液・修正テープ使用不可）。
- 「受験整理表」の各区分ごとの「コード番号表」は受験願書の裏面にも記載しています。
- 「記載例 2（会計専門職大学院修了者（見込者）向け）」が裏面にあります。「記載例 3（短答式試験合格者向け）」、「記載例 4（旧第 2 次試験合格者向け）」は、別添を参照して下さい。

19,500 円分の収入印紙を重ならないように貼って下さい。

「氏名」及び「生年月日」は、戸籍（外国籍の方は在留カード）どおり正確に、誰でも分かるような字で丁寧に記入して下さい（受験願書に記載した氏名と添付書類（免除通知書等のコピー）の氏名が異なる場合は、戸籍抄本（コピー不可）を添付して下さい。。

## 平成28年 公認会計士試験受験願書 (第 II 回短答式試験及び短答式試験免除者等用)

収入印紙貼付  
19,500 円分(2回貼らないこと。)

10,000円	4,000円
5,000円	500円

受験番号  
関東財務支局 第 号  
平成 28 年 2 月 14 日

公認会計士・監査審査会会長 殿  
平成 28 年 公認会計士試験(第 II 回短答式試験)を受験したいので申込みます。

ふりがな かいけい たろう	生年月日 明治 63 年 9 月 17 日 平成 (年齢 27 才)	〒0000-0000 東京都千代田区霞が関0-0-0 〇〇アパート101号 (TEL 00-0000-0000) (携帯) 000-0000-0000
氏名 会計 太郎	性別 (男)・女	緊急連絡先 (TEL 000-000-0000)
旧姓 (改姓年月 年 月)		

【旧姓欄は、新姓に記載した氏名と添付書類の氏名が異なる場合のみ記入すること。】

短答式試験免除申請  
短答式試験の【全科目】  
【一部科目】について免除を申請します。  
【上記の【全科目】又は【一部科目】のうち、該当する方を○で囲むこと。】

論文式試験免除申請  
論文式試験の一部科目について免除を申請します。

記入しないで下さい。

「申込日（受験願書受付期間内の日付に限る）」を記入して下さい。

「申込日」現在の年齢を記入して下さい。

「受験票」、「合格証書」等の郵便物が確実に到着する住所を、都道府県名を省略するなどして、40 文字以内（濁点、ハイフン等も 1 文字）で記入して下さい（郵便番号も必ず記入して下さい。またマンション等の建物にお住まいの方は建物名、部屋番号まで記入してください。）。また、「TEL」は受験願書の記載事項等について取り急ぎ照会する必要がある場合に、確実に連絡が取れる電話番号を記入して下さい。自宅の電話番号に加えて、携帯電話がある場合には携帯電話の電話番号も記入願います。

本人の連絡先以外の緊急連絡先を必ず記入して下さい（「現住所」欄の「TEL」以外に緊急連絡先がない場合には、「なし」を○で囲んで下さい。）。

【注】受験願書に記載された個人情報は、公認会計士試験の実施及び統計目的以外に使用しません。合格者の個人情報については、公認会計士となるための手続における本人確認のために日本公認会計士協会及び内閣府入国管理官の認定する業務補習団体等へ提供しますが、当局による意識調査のためのアンケートに使用することがあります。

### 受験整理表 (別添記載例を参照して記入すること。)

年	受験番号 ①受験年 (記入しないこと。)	氏名(カタカナ) 【カタカナにより左詰めしてください。また、姓と名の間は1字あけ、濁点、半濁点は1字とすること。】	②生年月日			③性別	④職業	⑤学歴	⑥論文式試験選択科目 経営学 経済学 民法 統計学
			年	月	日				
28	012	カイケイ タロウ	36	30	9	1	04	05	1

⑦生年月日区分(年号)

1	明治
2	大正
3	昭和
4	平成

⑧学歴区分

0	1	大学院修了(2を除く) 【修士を含む。】
0	2	会計専門職大学院修了 【修士を含む。】
0	3	大学院在学中(1を除く)
0	4	会計専門職大学院在学中
0	5	大学(短大含む)卒業 【修士を含む。】
0	6	大学(短大含む)在学中
0	7	高校卒業【見込者・大学中 退者を含む。】
0	8	その他

⑨論文式試験選択科目区分  
例：経済学を選択する場合

経営学	経済学	民法	統計学
	1		

\*選択する科目に「1」を記入すること。  
選択科目の免除を受ける場合でもって記入すること。

\*「修了」又は「卒業」には、平成28年3月に「修了」又は「卒業」見込の者を含む。

⑩職業区分

職業区分	0	1	例
会計士種	0	1	会計士種 (02に該当しても01)
非営利法人・会計事務所 勤務(01・02を除く)	0	2	非営利法人・個人会計事務所、税理士事務所 に従事【会計士種・税理士を除く】
税理士種	0	3	税理士種 (02に該当しても01)
会社員	0	4	民間企業等に従事
公務員 (06を除く)	0	5	国家公務員、地方公務員 【教員を除く】
教員	0	6	学校教育法による学校の教員、教授 (05に該当しても06)
教育・学習支援 (06を除く)	0	7	専修学校、受験予備校の講師 【教員を除く】
学生	0	8	学校教育法による学校の生徒、学生等
専修学校・ 各種学校受講生	0	9	専修学校生、受験予備校生
無職	1	0	無職、パート等の者
その他	1	1	個人会計事務所を除く非常勤 【職業等】

\*非常勤職員、嘱託職員、派遣社員、契約社員等は、10(無職)以外の職務する職業区分を記入すること。  
注：現出日現在の職業を記入して下さい。

記入しないで下さい。

免除項目	短答式試験 免除項目		論文式試験 免除項目	
	財務会計論	監査論	会計学	監査論
免除項目				

⑪免除通知書番号等

⑪第 2 次試験合格通知書番号(会計士種等)	⑫短答式試験合格通知書番号(平成28年度試験に限る)	⑬論文式試験合格通知書番号(1回試験)	⑭他の免除通知書番号

【10-15に該当する場合は免除通知書等のコピーの添付が必要です。】

「受験願書（控）」、「写真票」、「受験票」についても必要事項をみれなく記入して下さい。  
（「受験票」の裏面も記入して下さい。）